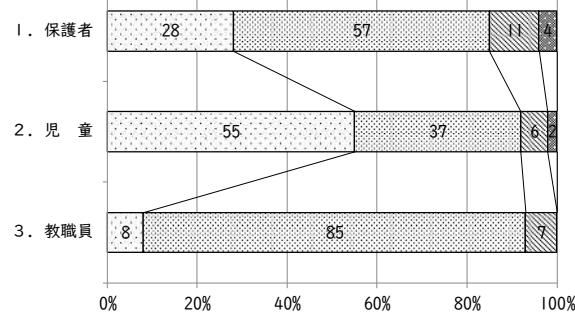


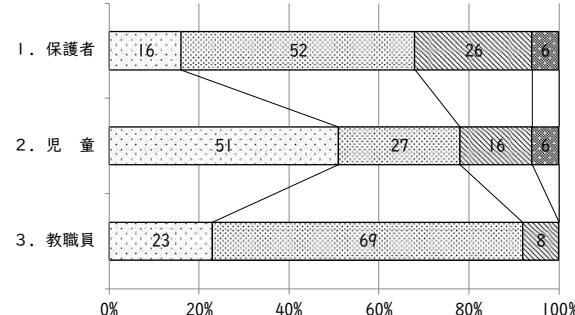
令和7年度 伏見南浜小学校
第2回学校評価
アンケート結果と考察
～学習面・自由記述～



- ⑥ 1. 我が子には、読む・書く・計算するといった、基礎的・基本的な学力が身についている。
2. けいさんやかんじ（ひらがな・かたかな）のちからが、みについている。
3. 読む・書く・計算するといった基礎的・基本的な学力が身についていると思う。



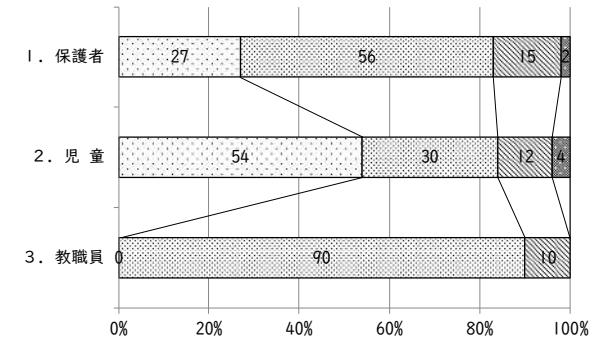
- ⑦ 1. 本校の学校教育目標を知っている。
2. がっこうのきょうもくひょうがいえる。
3. 本校の学校教育目標が、子どもや保護者に伝わっていると思う。



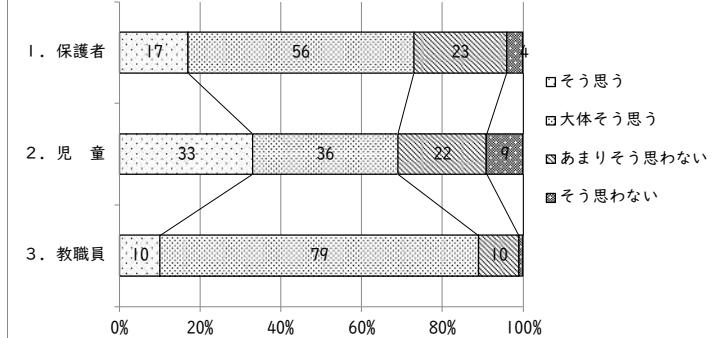
学校評価アンケートは、保護者・児童・教職員の3者が毎日の生活を振り返り、今後への改善につなげるものです。子どもたちの頑張っている姿、そして保護者の方々からの学校に対する期待を十分に受け止め、今後の学校教育活動へと生かし、より良い伏見南浜小学校にしていきたいと考えています。



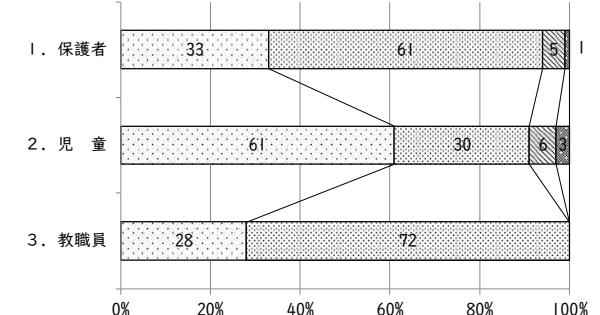
- ⑦ 1. 我が家では、家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。
2. おうちで、じぶんから、しゅくだいやがくじゅうをしている。
3. 家庭学習の習慣が定着していると思う。



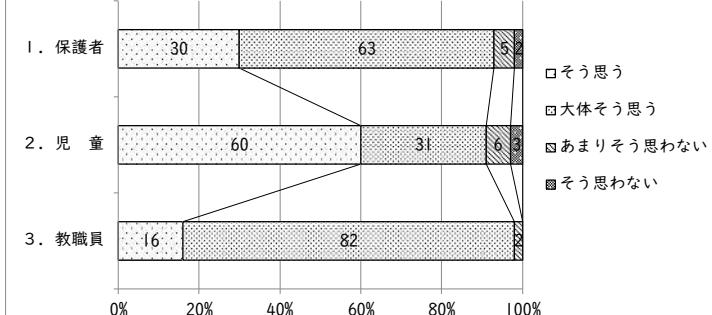
- ⑧ 1. 学校・学年・学級だより等のお知らせを丁寧に読んでいる。
2. がっこう・がくねん・がっこうじゅうのおたよりを、おうちのひとにわたしている。
3. 学校・学年・学級だより等のお知らせを、子どもと丁寧に読んでいる。



- ⑩ 1. 学校が「子どもたちの過ごしやすい学校づくり」を進めていることを感じる。
2. あんしんして、がっこうで過ごしている。
3. 子どもたちの過ごしやすい学校になっていると思う。



- ⑪ 1. 学校が「子どもたちの力がつく学校づくり」を進めていることを感じる。
2. がっこうでがくじゅうしたこととおして、じぶんがせいちょうしたとかんじる。
3. 子どもたちの力がつく学校になっていると思う。



2. 学習面

⑥～⑪まですべての項目で前回からの大きな変化はありませんでした。また、教職員の子どもの評価に対する「そう思う」のポイントが少ないのは、教職員はクラスや学校全体の児童を評価していることからくると考えられます。

⑥「基礎的・基本的な学力が身についているかどうか」については、「あまりそう思わない・そう思わない」が、保護者では15%、児童では8%、教職員では7%となっていました。引き続き、子どもたちが、「わかる」ことで感じる楽しさ、やりがいを十分に味わえるよう、授業改善を図っていきます。また、GIGA端末もi-padに変わり、より使いやすくなり、授業でも積極的に活用するようになりました。デジタル教材とこれまでの学習形態を融合しながら、児童自らが、自分のペースで取り組む学習なども積極的に取り入れながら、自ら楽しく学ぶ姿勢を身につけられるようにしていきたいと考えています。

⑩「子どもたちの過ごしやすい学校づくり」に関するアンケートでは、「そうなっている、大体そうなっている」と感じている保護者・児童・教職員がほぼ95%以上となっていました。しかし、「あまりそう思わない」「そう思わない」と思っている児童も9%おり、残念な結果でもありました。学校としてもその9%の子どもの思いを受け止め、一人でも学校が楽しい、過ごしやすいと思ってくれる子が増えるよう、取り組みを進めていきたいと思います。スクールカウンセラーによる心の授業やつながりアンケートをもとに、子どもたちが学校生活において日々感じていることを聞き取り、その思いや悩みの解決に向か、丁寧に対応していくことが最善の方法だと考えています。保護者の皆様にはご心配をおかけすることもあると思いますが、お子たちの成長のために、ご支援・ご協力いただければと思います。

自由記述欄

「我が子に身につけたい力とは、どのような力ですか」という問い合わせに対し、たくさんのご意見をいただきました。いくつかご紹介いたします。

- ・自主性 ・集中力 ・他人を思いやる心 ・自分で考える力 ・自己肯定感
- ・挨拶 ・主体性 ・社交性 ・自分の気持ちや意見を伝える力
- ・コミュニケーション力 ・チャレンジする力 ・自分で考えて行動する力 ・基礎力
- ・判断力 ・生き抜く力 ・自律する力 ・柔軟な考え方

そのほかにも多数ご意見いただきました。ありがとうございました。また、このお便りをご覧いただき、ご家庭でも、これから社会を生きていくうえで大切な力やそのために日々取り組みたいことなどについて、お家でもお話をいただければ嬉しく思います。